

令和3年度 練馬区立開進第二小学校 経営計画

学校教育目標	○意欲的に学ぶ子	○広く思いやる子	○進んで体を鍛える子
目指す子ども (幼児・児童・生徒)像	<p>○意欲的に学ぶ子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学ぶ楽しさを知り生き生きと学ぶ子。 ・主体的に話を聞き自分の考えを深められる子。 <p>○広く思いやる子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分を見つめ、自分の良さがわかる子。 ・人を思い、人とつながり、人に尽くせる子。 <p>○進んで体を鍛える子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標に向かってチャレンジできる子。 ・継続して取り組める子。 	目指す学校 (教師像を含む)	<p>1. 活気のある学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人が主役となれるやりがいのある学校 ・向上心を持ってチャレンジできる学校 ・常に明るく楽しく暮らせる学校 <p>2. 安心して通える学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ、暴力、体罰のない学校 ・誰一人として一人にしない学校 ・ルールや規則をみんなで守る学校 <p>3. 学ぶ集団である学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考える楽しさが分かる学校 ・知恵を合わせる楽しさが分かる学校 <p>4. 創造する学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しいよりよいことを作り上げていく学校 ・多くのアイディアにあふれる学校 ・自由な発想ができる学校 <p>5. 信頼される学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人が使命感をもって仕事をする学校 ・きちんと謝れる学校 ・感謝の気持ちを忘れない学校 <p>6. 本質を見失わない学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見た目や思い込みに流されない学校 ・あたりまえを疑うことができる学校
教育目標を達成するための基本方針	<p>学ぶ集団である学校</p> <p>児童の気付きを大切に、分かる喜びが実感できる授業を実践することで深い学びを追求していく児童を育てる。</p>	<p>活気のある学校</p> <p>日々の授業の中で、人やものごとに主体的に関わっていくことで、豊かな人間関係を築く児童を育てる。</p>	<p>安心して通える学校</p> <p>すべての学級で特別支援教育的視点を取り入れた指導を実践し、すべての児童が学級の中で自己実現できる環境を整える。</p>
<p>教職員が生き生きと誇りを持って教育活動をする中で、自己有用感をもった魅力的な子どもを育て、地域の期待に応える学校を作る。</p>			

今年度の重点

A 重点目標	B 中期経営目標 (数年間でどのような状態にするか)	C 短期経営目標 (今年度末までにどのような状態にする)
学ぶ集団である学校	1時間1時間の授業を作る上で、常に児童の実態把握に努め、児童が主体的に学ぶ具体的な姿を明らかにしてから実践することができる。	授業を組み立てる際に、単元のねらいに即した必要な知識・技能や周辺知識について把握し、児童が主体的に学ぶ具体的な姿を指導計画に明記し、指導に反映することができる。
	1時間1時間の授業の中でポイントとなる部分(場面)を教師が把握し、意図的に発問を工夫することで児童が自ら考え、課題を解決する力を引き出すことができる。	年間を通して児童一人一人の課題把握能力と課題解決能力の度合いを見取り、記録していくことで児童の学習能力の向上を図るとともに授業改善の指針とすることができる。
	1時間1時間の授業の中で、児童同士が主体的に話を聞き、考えを深めていけるような、意義のある話し合い活動を行うことができる。	教師の話を児童が主体的に聞くことができるように指導の工夫をし、その成果をもって児童同士の話し合いを意義あるものとするすることができる。
活気のある学校	日々の授業で教師が一人一人の児童の良さを生かした指導をすることができ、児童同士の認め合い、尊重し合える環境を整えることができる。	日々の授業の中で教師がファシリテーターとなって児童の多様な考え方を引き出すことで児童一人一人の良さを明らかにし、児童同士の認め合いが見られる授業が展開できる。
	学年や学校行事を行う際に必ず事前に個人のめあてを明確にして取り組ませ、実施後に振り返りを行い、達成感をもたせ、自分を認められる児童を育てることができる。	各行事ごとに振り返りをさせ、キャリアパスポートとして蓄積することで児童一人一人に達成感をもたせ、自己有用感を持たせることができる。
	道徳授業の中で、児童一人一人の多様な思いや考えを引き出す工夫を最大限に行うことで、様々な考え方や価値観に気付き、自分の生き方考え方について深く思いを巡らすことができる。	道徳授業における中心発問を吟味し、児童が主体的に考えを深めていくことができる授業実践を行い、ポートフォリオを残すことで児童が自己の成長を実感できるようにする。
安心して通える学校	本校特別支援学級(あおぎり学級)、特別支援教室(つつじルーム)の指導法に学ぶことで、通常学級における個に応じた指導の充実を図る。	職員会議、特別支援教育全体会、OJT研修等を通して、全職員が特別支援教育的視点をもった指導について理解し、実践し、成果を共有することができる。
	児童の思い、保護者の思いに常に耳を傾け、教師一人一人が自己の指導方法や内容について自己点検をし、日々改善していくことができる。	保護者会、個人面談、キャリアパスポート等を通して、保護者の思いを丁寧に聞き取り、児童一人一人をより深く理解し、個に応じた指導を実践することができる。
	学級内の児童についての情報を校内のすべての関係職員から収集することで、児童一人一人に対する指導を工夫し、すべての児童が学級で自己実現できたことを実感できる教室環境を整える。	1年間の学校生活を通して児童一人一人が、やりがいや達成感をもって取り組むことができる場面があり、それに対して自己評価をすることができ、自己有用感を持つことができ、それを教師がきちんと見取り、児童・保護者とともに共有することができる。